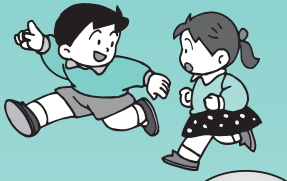




ふるとわオツチング



5/22

茶摘み体験



総合的な学習の一環として多根小学校の全校児童らが、小学校裏にある茶畑の茶摘みを体験しました。汗ばむような真夏日となったこの日、地域の高齢者

11人から指導を受けながら、児童らは新しい芽を摘み取っていききました。収穫された茶葉は、地域の方のお茶会などに利用されるとのことでした。



茶摘み歌のBGMの中、手摘みをしました

5/21

農山村交流



三刀屋町神代の地元住民で構成する「いきいき21世紀委員会（奥田武代表）」が主催する「ふれあい体験農業」の手植え体験がありました。この事業は、広島県や松江市などの住民と田植えや稲刈りを通じて、交流を深めるもので、6年前から毎年取り組まれています。いきいき21世紀委員会は、「リピーターも毎年多く参加されています。第2のふるさとづくりにつながれば」と話していました。この日植えた稲の管理は、農事組合法人フレッシュファーム神代（奥田功理事長）が行い、秋には収穫祭が行われる予定になっています。

6/11

バイオリンミニコンサート



今年で6回目を迎えるバイオリンミニコンサートが開かれ、来場者はやわらかな優雅な弦の響きに聞き入りました。

このコンサートは、ラメールバイオリン教室（高橋美穂講師）の成果発表の場として開催されたもので、17名の生徒らが練習の成果を堂々と発表しました。1部では、ピアノの音色にあわせ生徒一人ひとりがバイオリンのソロ演奏をし、2部では、生徒全員がそれぞれのパートを弾く合奏を披露しました。



みなさんラメールでのバイオリン教室に参加してみませんか？
生徒の方を随時募集していますので、興味のある方はラメール（☎0854-49-8500）まで

6/9

子育て学習会



田井公民館で田井保育所と田井公民館の共催で子育て学習会を開催しました。当日は田井保育所の保育参観も兼ねており、子どもたちとその保護者、国際交流員のロジャーさん、カーズティンさんも加わり総勢56名で行われました。学習会では木次町の藤原淳子さんを講師に迎え、「リトミックあそび」をしました。藤原先生の楽しい手遊びから始まり、ピアノを使ったり、大きな声で歌い、笑い、身体でリズムをとったり、カステネットやボールを使いながら楽しく家族とふれあいました。



英語の歌「head shoulder knee toe（頭肩膝つま先）」に合わせた手あそびでは、国際交流員の歌とパフォーマンスタに会場は大盛り上がり。生の英語を聞きながらの楽しい異文化交流の場にもなりました。

6/14

どんぐりの森づくり



使用された竹製ポットは、環境にも配慮されているほか、外敵からも苗を守ります。

この植樹は、道路法面への植樹による森林の復元や斐伊川上下流域小学校の交流を目的に、平成12年から毎年取り組まれているものです。植樹には、市内から久野・温泉・西日登・寺領・掛合小学校や奥出雲町、出雲・松江市などの小学校からおよそ300人の児童が参加。額に汗を流しながらクヌギやカシなどの苗木を植え、その横には「大きくなるとね」「天までとどけ」などのメッセージが書かれたネームプレートを添えまし



開会式では、西日登小学校5年の江隅秀平さん、小林早悠里さん、石田はるかさんがそれぞれ宣誓しました。

6/4

たんぼの学校



日本の棚田百選に認定されている大東町山王寺の棚田で、たんぼの学校が開校しました。田んぼの学校は、子どもたちが棚田での農業を通して、自然を体感し、豊かな農村景観を守り育てる活動につながればと、水土里ネットワーク（島根県土地改良事業団体連合会）と地元山王寺本郷棚田実行委員会（高島幹雄会長）らが主催しました。およそ0.2aの水田に植えられたのは、古代米（黒米）。参加者はばばひきにも挑戦し、終始にぎやかな声が響いていました。たんぼの学校では、夏休みに「棚田の自然調べ」、秋には稲刈り体験や収穫祭が行われる予定です。



（黒米）。参加者はばばひきにも挑戦し、終始にぎやかな声が響いていました。たんぼの学校では、夏休みに「棚田の自然調べ」、秋には稲刈り体験や収穫祭が行われる予定です。